

長年アトピー性皮膚炎に悩み通院が負担です
新薬の自己注射での治療が保険適用に
立川皮膚科クリニック
www.tachikawa-derma.com

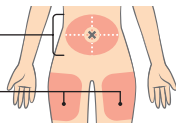
重度のアトピー性皮膚炎
治療のスケジュール



医師の判断の下、患者自身が注射を行う「自己注射」も可能です

自己注射に適した部位

へそ周り以外の腹部
へその周り5cmは避ける
太もも



「自己注射が可能なのは、15歳以上の重症患者です。また、顔に合併症の湿疹がある場合は効果が出ない場合もあります。新薬の使用について、詳しくは皮膚科の医師に相談してください。」

「自己注射が可能なのは、15歳以上の重症患者です。また、顔に合併症の湿疹がある場合は効果が出ない場合もあります。新薬の使用について、詳しくは皮膚科の医師に相談してください。」

立川皮膚科クリニック
立川駅南口メディカルモール3階

サンドラッグ
立川駅
三新橋
グランデュオ
アズライト
多摩モノレール
立川南駅

休診日：日曜、祝日

診療受付時間	月	火	水	木	金	土
9:30~ 13:30	○	○	○	○	12:30まで 受け付け	○
15:00~ 19:30	○	○	○	○	18:30まで 受け付け	17:30まで 受け付け

慢性的なかゆみをとむ
なう湿疹で長期間悩んで
いる人も多い「アトピー
性皮膚炎」の症状と治療
について、日本皮膚科学
会認定皮膚科専門医で、
立川皮膚科クリニック院長
の伊東秀記先生に聞き
ました。

原因は？
「アトピー性皮膚炎は
ロイド抗炎症性外用薬や
補う治療(保湿と、ステ
ロイド抗炎症性外用薬や
「皮膚のバリア機能を
腫れたり、カサカサ、ジ
クジクしたりと症状には
個人差があります」

治療方法は？
「皮膚への刺激や乾燥、バ
リア機能の低下やアレルギー
反応でおこります。
かゆみを伴う湿疹で赤く
腫れたり、カサカサ、ジ
クジクしたりと症状には
個人差があります」

「デュレルマフ(生物学的
製剤)の自己注射が昨年
認可され、保険適用とな
りました。かゆみや炎症
の原因となる、サイトカ
イン(免疫系細胞から分
泌されるタンパク質)の
うちIL-4、IL-13
の作用をブロックする注
射薬です。今までの治療
法で十分な効果が得られ
ない人が対象です。医師
の指導の下、自宅で自己
注射も可能となり、通
院の回数を減らせるよう
になりました」

「自己注射が可能なのは、15歳以上の重症患者です。また、顔に合併症の湿疹がある場合は効果が出ない場合もあります。新薬の使用について、詳しくは皮膚科の医師に相談してください。」

2020年3月27日付 「リビング多摩」に掲載されました

院長：伊東秀記
日本皮膚科学会認定皮膚科専門
医、東京慈恵会医科大学医学部卒
業

問い合わせ
☎042-843-1377
JR「立川」駅南口徒歩2分